

1. 開催年月日 平成 28 年 1 月 22 日 (金) 13 時 30 分～15 時 00 分
2. 開催場所 岐阜県可児市広見七丁目 90 番地
株式会社ケーブルテレビ可児 会議室
3. 出席委員数 4 名 (欠席 4 名)
4. 事業者側出席者数 3 名
5. 議 題
 1. 番組試聴および審議
 2. 放送番組全般について

6. 審議内容

1. 番組聴取および審議

次の番組を聴取し、審議した。

1 月 14 日 (木) 17:00～
「バラ色の人生」
パーソナリティ：ローズ由美子

- ・すごく聴きやすい話し方をされる方だと思う。心地よく聴こえた。フランスがお好きということで、そうした音楽と相まって、聴いていて苦にならない番組だと思った。ところどころに地元色もあり、女性からも支持されるのではないかと感じた。
- ・ソフトであたたかな印象。きれいな日本語を使っている。
- ・女性の好きそうな話題で、ぜひもっと盛り上げてもらいたいと思った。市の情報発信も女性に特化できないかという話があり、非常によかった。花売り娘の前あたりは聴きにくかった。男性リスナーが多いということだが、もっと女性に聴いてもらえる時間帯でもいいと思う。
- ・バラは可児の花ということで、地元の話が出るのも期待できる。
- ・番組イメージは夕方ではなく朝ではないか。
- ・花に関しては、女性の好きな話だと思う。この時間だから男性リスナーも多いということだが、違う時間だと逆にリスナーが女性に固定化されてしまわないか。

1 月 16 日 (土) 15:00～
「RADIO TOMASON」
パーソナリティ：TOMASON

- ・私の世代目線ではいまひとつ感じる点もあるが、中学生からメールが来ており、若い層とコミュニケーションをとる番組として戦略的だと思う。話し方については、どんどん新しいパーソナリティが入ってくる中で、これまで培ってきたスキルを伝達する仕組みの必要性を感じる。

- ・アートグループのメンバーが「FMらら」でパーソナリティをやっている、この地域を拠点に活動している、という思いが伝わってこない。これでは、名古屋から来ている人でも変わらない。全国的に活躍する人がこの地区に住んでいるという地域性、この地域でやっている必然性を打ち出してほしい。戦略を明確にして準備をしておくこと、話し方を練習しておくことを要望する。
- ・若い人の支持が増えるよう、今後の可能性に期待している。
- ・最初に落書きアート集団と聞いたので、その手の話を期待していた。職場の若い子の会話そのままだったので、これも文化かなと思って聴いていた。特化するなら若者をターゲットに徹底していくべきという気がする。
- ・受賞歴もあり、高い能力を持っているメンバーなので、アートに関心のある若者が勇気ももらえる切り口があるとよいし、そうした面をベースに話をしてくれるとよい。
- ・第一印象はうちの息子が友達としゃべっている感じ。選曲など、インディーズに関心がある若者の共感を得られそう。

2. 放送番組全般について

- ・去年の12月の白川町の番組を聴いていた。飾り気がなくてよかった。マラソン大会の話題がさらっと済んでしまい、魅力をもうちょっとアピールしたら良かったのではと思った。
- ・災害時に通行止めで困ったという人が、知人に「ららを聴けば情報を知ることができたのに」と言われ、「これからは私はららを聴く」と言っていた、という話を聞いた。ちょっとしたロコミから輪が広がっていくのではないかな。

以上の意見が出され、全員承知した。